

[2025年版] 東方書店おすすめ

価格は消費税 10%込
で表示しています

中国を学ぶための 入門書・ガイドブック

本目録に掲載の書籍は、東方書店ホームページ・東京店舗・関西店舗で求めいただけます

WEB 版はこちら→ <https://www.toho-shoten.co.jp/kbook/catalog/nyuumon.html>

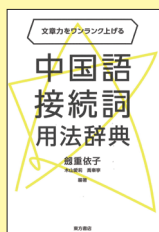


中国語で学ぶ 中国文化基礎知識 [改訂版]

(音声ダウンロード方式)

中山時子監修／楊立明・郭春貴・孟広学著／東方書店／3,080 円／2024 年
やさしく書かれた中国語の文章を読みながら、同時に中国文化の基礎も
学ぶことができる。本文にはすべてピンインをつけ、理解を助ける解説
や資料も豊富。地理・歴史、文化、風俗習慣の 3 章から成り、全 20 課。
どこから読み始めても、中国という巨大な文化の一面に小さな一歩を踏
み出せる。

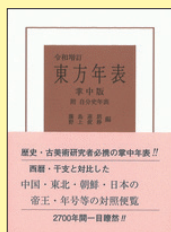
＊ロングセラーテキストを音声ダウンロード方式にリニューアルしたも
ので、内容は同じです。



文章力をワンランク上げる 中国語接続詞用法辞典

劔重依子・木山愛莉・喬秦寧編著／東方書店／2,970 円／2023 年

多種多様な接続詞から中国人がよく使う 200 個を厳選。解説は簡潔にし
例文を多く収録することで、実例からニュアンスや使い方をマスターで
きるようにしている。



令和増訂 東方年表 掌中版 附自分史年表

藤島達朗・野上俊静編／平楽寺書店／1,650 円／2024 年

歴史・古美術研究者必携！ 中国・東北・朝鮮・日本の帝王・年号等の
対照便覧。西暦・干支併記。2700 年間が一目瞭然。

大字版 (A5 サイズ、2,750 円) もございます。



やさしくくわしい中国語文法の基礎

改訂新版

守屋宏則・李軼倫著／東方書店／2,640 円／2019 年

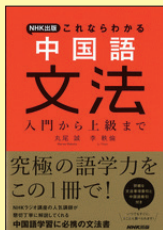
初級から中級まで学習者のニーズに応える、参考書の決定版をリニューアル！ 充実した検索機能など、旧版の長所はそのままに、例文を全面的に見直し、解説もアップデート。例文には日本語訳とピンインを付す。



究極の中国語リスニング Vol.1

上野振宇・太田匡亮・許挺傑・塩山惠著／アルク／1,980 円／2025 年

「覚えた単語が、文の中で聞き取れない！」の解消へ。『改訂版 キクタン中国語』シリーズの「中検準4級・4級レベル」に対応したリスニング教材。1～2分程度の会話・長文を「ピンイン→漢字→日本語」の順に確認、丁寧にリスニングの練習ができる。全30課。

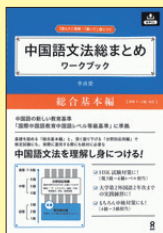


NHK出版 これならわかる 中国語文法

入門から上級まで

丸尾誠・李軼倫著／NHK出版／3,630 円／2022 年

中国語文法の基本から応用表現にいたるまでを豊富な用例とともに順を追って詳しく解説。初級で学ぶ基本的な事項から上級者向けの知識までを幅広くカバーしたこの1冊で究極の語学力を身につけよう。巻末索引付き。

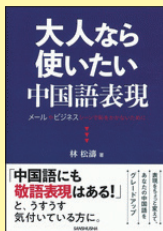


中国語文法総まとめワークブック

〈総合基本編〉(音声 DL 付)

李貞愛著／アスク／2,420 円／2025 年

『国際中国語教育中国語レベル等級基準』初等1～3級の文法事項をまとめて学習。簡潔な説明と豊富な練習で、「書き込み」ながら中国語文法を理解し整理するワークブック。HSK3級～4級、中検4級～3級の対策にも。

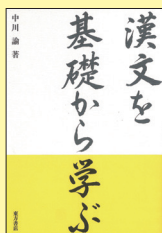


大人なら使いたい中国語表現

メールやビジネスシーンで恥をかかないために

林松濤著／三修社／2,200 円／2020 年

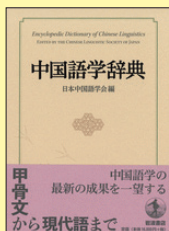
仕事で中国語を使うなかで、「中国語にも敬語表現はある！」と、うすうす気付いているあなたに。場所、相手、伝達手段にふさわしい表現を身につけて、中国語をグレードアップしよう。



漢文を基礎から学ぶ

中川諭著／東方書店／2,750 円／2023 年

漢文はこわくない！ 漢文学習の入り口である返り点と送り仮名から、漢文の文型や文法の学習を経て、最終的には返り点・送り仮名のついていない、句読点だけの漢文を読めるようになることを目指す。丁寧な解説が持ち味の漢文入門テキスト。語句索引つき。



中国語学辞典

日本中国語学会編／岩波書店／17,600 円／2022 年

日本中国語学会が学会を挙げて編纂する、中国語学に関する総合的な辞典。文法・音韻・語彙・文字・古代文献・方言・言語処理・言語教育・社会言語学などの分野にわたる、用語・事項・書名・出土資料などの約 1100 項目を収録。巻頭に「分野別項目一覧」を掲げる。



中国／日本〈漢〉文化大事典

川合康三・大谷雅夫・黒田真美子・小島毅・後藤昭雄編／
明治書院／41,800 円／2024 年

中国の伝統文化としての〈漢〉文化（文学・思想・芸術等）と、それを受容・展開した日本文化の深層に残る〈漢〉文化を解説する「読む辞典」。中国編（先秦～近代、253 項目）、日本編（上代～近代 174 項目）からなる。



地図で見る中国ハンドブック 第3版

ティエリ・サンジュアン、カリヌ・アンリオ／太田佐絵子訳／原書房／3,520 円／2024 年

中国は政治的権威主義、国内の不安定、混乱する経済、経済的対立、環境問題など、さまざまな課題が組み合わさった、かつてない危機に直面している。120 以上の地図とグラフは、数々の新たな問題の理解を助けている。全面的に改訂された 2021 年 9 月刊のリニューアル版。



ビジュアル大図鑑 中国の歴史

DK 社編／佐川英治・岸本美緒監訳／東京書籍／6,930 円／2022 年

5000 年前の神話の君主から清の最後の皇帝溥儀まで、中国の歴史をひもとくビジュアル年代大図鑑。先史時代と初期の人類に始まり、秦の「初代皇帝」、唐・宋の黄金時代、最後の満州清朝の滅亡まで帝国中国の繁栄と衰退の過程を、多数の美術品や工芸品を織り交ぜて解説する。



中国の歴史〈増補版〉

山本英史著／河出書房新社／3,190 円／2024 年

先史時代から中華人民共和国まで、権力が一極集中する国の 4000 年史を丹念に綴る「中国通史」の決定版。2016 年版の全 12 章に、日米・近隣諸国諸地域との緊張を深める大国が目指す方向を中心に加筆した「増補章 人民中国の現在—中華人民共和国」を増補。



教養の中国史

津田資久・井ノ口哲也著／ミネルヴァ書房／3,080 円／2018 年

先秦史(渡邊英幸)／秦代～前漢武帝期(水間大輔)／前漢中期～後漢(井ノ口哲也)／三国・兩晋・南朝(津田資久)／匈奴・五胡・北朝(松下憲一)／仏教美術の道のり(森田美樹)／隋・唐(江川式部)／唐後半期・五代・北宋・南宋(宮崎聖明)／契丹(遼)・金・元(渡辺健哉)／明・清(小川快之)／清末・中華民国・中華人民共和国(小野寺史郎)／中国と台湾をめぐる現代文学の歩み(小笠原淳)／現代中国案内(森平崇文)



論点・東洋史学 アジア・アフリカへの問い 158

吉澤誠一郎監修／石川博樹・太田淳・太田信宏・小笠原弘幸・宮宅潔・四日市康博編著／ミネルヴァ書房／3,960 円／2022 年

東洋史学の論点を 158 項目集成し、背景とともに提示。〈探究のポイント〉として、ゼミや講義で議論する際の手がかりを示す。学界が誇る第一線の執筆陣 148 名による珠玉の論考。



新・図説 中国近現代史 日中新時代の見取図〔改訂版〕

田中仁・菊池一隆・加藤弘之・日野みどり・岡本隆司・梶谷懷著／法律文化社／3,300 円／2020 年

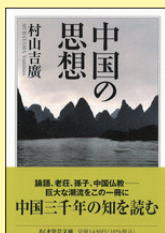
中国近現代史の始点を清朝の斜陽（1800 年）におき、21 世紀に至る過程を 3 編 15 章 119 項で描写。改訂にあたり 2011 年以降の動向を盛り込み、21 世紀の中国、台湾・香港を充実。



東アジア海域のなかの日本 歴史・交易・文化

山崎寛士著／東方書店／1,980 円／2023 年

旧来の視点から脱却し、俯瞰的に東アジアの歴史・文化を探索する。古代から近代にかけての日本と東アジア海域の国との交流・交易・外交事例を基軸として、両国間の当時の歴史・文化についてわかりやすく紹介する、東アジア海域通史の入門書。



中国の思想

村山吉廣著／筑摩書房／1,430 円／2024 年

論語・老荘・諸子百家などの古典に始まる中国三千年の思想を、各々が形成された時代背景を踏まえつつ、民族の社会・生活に根差した「総合的な知」として中国思想を描きなおす。初版 1972 年。



入門 中国思想史

井ノ口哲也著／勁草書房／3,080 円／2012 年

中国思想史を初めて学ぼうとする人を対象とした、時代ごとの断代史という構成による入門書。孔子や老子の登場につながる思想からはじめ、全体を通史としてみることで、現代の中国を理解するために必要な様々なものの考え方が理解できるようになる。



中国倫理思想の考え方

水口拓寿著／山川出版社／1,980 円／2022 年

孔子がつくり、孟子・荀子らが育てた儒教の倫理思想は歴代王朝の「国教」となって、中国の人間関係や社会秩序を強く規定してきた。その形成と展開について概説し、理想と現実を浮き彫りにする。



仏教史研究ハンドブック

佛教史学会編／法蔵館／3,080 円／2017 年

インド、アジア諸国・地域、中国、朝鮮半島、日本の仏教の歴史と教義がつめこまれた便利でコンパクトな一冊。仏教史を学び始めたい人、幅広く知りたい人に最適！



中国の信仰世界と道教 神・仏・仙人

二階堂善弘著／吉川弘文館／1,870 円／2024 年

道教・仏教・民間信仰が混ざりあい、地域による違いを保ったまま複雑に展開する中華圏の宗教。六朝時代から現代に至るまで信仰される、関帝・媽祖（マソ）・八仙などの神々を時代やテーマ毎に紹介する。『西遊記』『封神演義』などの文芸にも影響を受けて変容する姿と特徴を解明。



中国目録学

清水茂著／筑摩書房／1,210 円／2024 年

書籍を分類して解題目録を作る学問・目録学。本書では、木や竹、布に記録することを始めた古代中国から、紙や印刷術の発明とともに目録学がどのような発展を遂げてきたかが縦横自在に語られる。「中国の蔵書家たち」「中国のエディション」など、関連文章も収録。初版 1991 年。



中国古典小説史

漢初から清末にいたる小説概念の変遷

大塚秀高著／筑摩書房／1,430 円／2024 年

古代中国において「つまらぬ言説」を意味した《小説》。それが歴史のなかでいかに変貌を遂げていったかを、漢初から清末まで各時代を代表する作品を取り上げながら追っていく。著者独自の視点と 15 のテーマを通し、中国古典小説の特色を浮かび上がらせる。



教養としての中国古典

湯浅邦弘編著／ミネルヴァ書房／3,300 円／2018 年

『論語』『列女伝』『菜根譚』ほか 18 種の中国古典について、実見の機会が少なくなってきた写本・版本の図版を大きく掲載し、各章に「名文読解」の節を設けるなど、原典にも親しみながら学べるように編まれた入門書。巻末の「中国の古典五〇選」では多種多様な中国古典をコンパクトに紹介。



中国文学の歴史

古代から唐宋まで

安藤信廣著／東方書店／2,640 円／2021 年

その時どきに、人は時代や自分の内面とどう向きあい、言葉にあらわしてきたのか。「詩詞」「文学」の系譜のみならず「文章」の系統も概観。先秦時代から宋代まで具体的な作品をたどることで、多彩な文学形式を生み出した、表現することへの強い思いが見えてくる。



中国文学の歴史

元明清の白話文学

小松謙著／東方書店／2,640 円／2024 年

庶民が楽しみのために本を読む時代はいつから始まったのか。元・明期を中心に、金から清代までの白話文学を通観する。当時の作品からエピソードも多数掲載。今日の「読書」体験の起源をたどる、中国文学への恰好の入門書。



中国文学をつまみ食い 『詩経』から『三体』まで

武田雅哉・加部勇一郎・田村容子編／ミネルヴァ書房／3,080 円／2022 年
第 1 部は、先秦・漢魏六朝から 1949 年以降の 5 章 72 項目にわけ、時代順に作者と作品を見開き 2 頁で解説。第 2 部は、何語で書くか、ビジュアルとのコラボレーション、様々なジャンルと形態、世界から見た中国文学など、ユニークな視点や切り口から中国文学の多様な味わい方を提案。



中国語現代文学案内 中国、台湾、香港ほか

栗山千香子・上原かおり編／ひつじ書房／3,520 円／2024 年

本書は、中国および台湾、香港、東南アジア等の代表的な中国語作家とその作品を紹介し、広い視点で中国語圏の現代文学を知ることができるよう編まれた案内書である。作家ごとの「作家ファイル」や「邦訳リスト」を用意しており、便利で信頼できるミニ事典としても利用できる。



デジタル時代の 中国学リファレンスマニュアル

漢字文献情報処理研究会／好文出版／4,950 円／2021 年

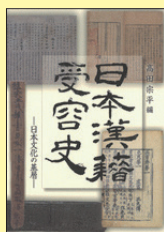
中国関連の資料探索や文献調査に役立つガイドブック。アナログ的な資料や工具書だけでなく、デジタルリソースの利用方法も同列に紹介。



図書館のための和漢古書目録法入門

伊藤洪二著／樹村房／2,310 円／2019 年

和漢古書は現代の書籍と比較するとそのありようが大きく異なり、取り扱いが難しい。本書は、図書館現場へ向けて NCR での規定に言及しつつ、図書館システム上で和漢古書の目録を作成する際に必要となる諸知識を紹介する。



日本漢籍受容史 日本文化の基層

高田宗平編／八木書店／9,900 円／2022 年

あらゆる知識・情報の根源となった漢籍は、どのように受容され、日本文化に根付いたのか。第一部古代、第二部中世、第三部近世、第四部文献研究の四部構成で論考 24 本とコラム 4 本を収録。日本に現存する漢籍等の名品から厳選した 23 点のカラー写真に解説を付して掲載する。



現代中国を知るための 54 章 第 7 版

藤野彰編著／明石書店／2,200 円／ 2024 年

前著第 6 版（2018 年刊）をベースに再構成し全面的に内容を改稿した最新版。第 6 版刊行以降の約 5 年間に起きた重大事件や新しい情報を盛り込み、複雑多岐を極める現代中国を多角的に複眼的に理解するために読者を導く最適な書籍である。



はじめて出会う中国〔改訂版〕

園田茂人編／有斐閣／2,200 円／ 2022 年

国際社会における存在感がますます高まる中国。中国に関する情報も増え、その実像はつかみにくくなっている。本書は、さまざまなイメージをもたれる中国を、客観的に理解するために必要な政治・社会に関する基礎知識をわかりやすくかつコンパクトに解説する。



現代中国 内政と外交

毛里和子著／名古屋大学出版会／3,960 円／ 2021 年

グローバル大国化した中国の内政と外交を同時にとらえ、国家資本主義から「周縁」問題まで、両者のネクサスに照準を合わせつつ、革命後の 70 年をふまえて現在の姿を浮き彫りにした、第一人者によるエッセンシャルな一冊。



現代中国経済〔新版〕

丸川知雄著／有斐閣／2,640 円／ 2021 年

GDP 世界第 2 位の経済大国・中国の経済を解明する。中国経済を、成長の原動力となった工業力の分析を中心として解説した好評書を全面改訂。枯渇しつつある農業の余剰労働力、強大となった経済力に警戒するアメリカ等の他国といった新しい状況に対応。



よくわかる中国法

王雲海・周劍龍・周作彩編著／ミネルヴァ書房／3,520 円／ 2021 年

はじめに中国法を概観し、中国の権力体制、中国法をつかさどる特質について解説する。各論では憲法、行政法、民法、商法といった基本分野のほか、食品安全管理法、知的財産権法、行刑法、「智慧法院」新設などのインターネット時代の司法改革などの社会的関心の高いテーマを精選。



中央ユーラシア史研究入門

小松久男・荒川正晴・岡洋樹編／山川出版社／3,300 円／2018 年

中国からヴォルガ・ウラル・コーカサスまで広汎な中央ユーラシア地域の研究を、時代・地域別に解説。ソ連解体後、自立をはたした国々の最新の研究成果も満載。参考文献やオンライン情報など基本データを網羅した入門書の決定版。



中国民族誌学 100 年の軌跡と展望

河合洋尚・奈良雅史・韓敏編／風響社／3,960 円／2024 年

ワールドワイドな視点から膨大な中国研究・人類学を整理・総覧。序章 中国民族誌学の回顧と現在の課題/1 20 世紀前半の中国民族誌学/2 親族/3 ジェンダー/4 エスニシティ/5 コミュニティ/6 都市/7 風水/8 信仰/9 宗教/10 食/11 観光/12 芸術/13 芸能/14 文化遺産/終章「文明の人類学」をめぐる一試論。



ようこそ中華世界へ

川島真編／昭和堂／2,970 円／2022 年

中国との関係は多くの分野で深化しているが、その「中国」は、国家としての中華人民共和国というより、台湾・香港・マカオ・華人を含めた多様な中華世界だろう。その中華世界を政治から文化に至る多方面の専門家 16 名が解説する。



華僑・華人を知るための 52 章

エリア・スタディーズ

山下清海著／明石書店／2,200 円／2023 年

在外中国人を指す「華僑」と、中国にルーツを持つが外国籍の「華人」。世界各国のチャイナタウンを歩き続けて 40 余年、観察と研究を積み重ねてきた地理学者が、華僑・華人の歴史と今を縦横無尽に語り尽くす。



ファンキー中国 出会いから紡がれること

井口淳子・山本佳奈子編著／灯光舎／2,530 円／2025 年

音楽家や収集家、映画祭主催者、祭祀採音者、研究者など 13 人が、自身の体験した「中国」を思う存分に綴ったエッセイ集。70 年代の文革期から現代中国という時代をまたにかけ、北京の胡同から雲南省、果てはフランスや台湾、モンゴルにまでエッセイの舞台が広がっていく。



中国ジェンダー史研究入門

小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編

京都大学学術出版会／3,850 円／2018 年

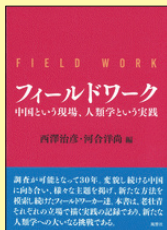
社会の父系化、ジェンダー規範の強化、そして社会主義をへて改革開放の大変動まで。家族、労働、ナショナリズム、身体、LGBT など今日的な研究視点を網羅し、中国ジェンダー史研究の全体像を初めて伝える。



中国女性史入門 女たちの今と昔（増補改訂版）

関西中国女性史研究会編／人文書院／2,530 円／2014 年

いまだかつてなかった自由な視点からの新しい研究をふまえ、古代から現代までを見渡した中国女性史の入門書。増補改訂版。



フィールドワーク 中国という現場、人類学という実践

西澤治彦・河合洋尚編／風響社／3,960 円／2017 年

調査が可能となって 30 年。変貌し続ける中国に向き合い、様々な主題を掲げ、新たな方法を模索し続けたフィールドワーカー達。本書は、老壮青それぞれの立場で描く実践の記録であり、新たな人類学への大いなる挑戦である。



中国のリアル 人々は何を悩み、何を追っているのか

俞敏浩編著／晃洋書房／3,300 円／2023 年

国家権力、政治体制など構造的な問題にも目を配りつつ、女性、LGBTQ+、クリスチャン、少数民族、外国人居住者、留守児童、大学生、ボランティア、中小企業主、退役軍人など、現代中国を生きる「人々」の物語に注目した、斬新な入門書。

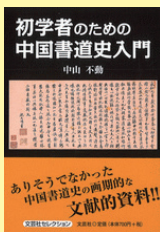


中華料理 5000 年の文化史

トーマス・デイヴィッド・デュボワ／川口幸大監修／湊麻里訳

河出書房新社／3,190 円／2025 年

古代中国の食文化から、周八珍、唐代の焼尾宴、元代の満漢全席、明・清代の宮廷料理、そして現代中国まで、7つの宴を中心に、70 料理のレシピ付で、その全貌を紹介する決定版。



初学者のための中国書道史入門

中山不動著／文芸社／770 円／2024 年

高校生が書道を学ぶことにおいて、あまり無駄な部分がなく、それでいて知りたい疑問にはちゃんと答えてくれるような書道史の本をと考えて、この本をつくりました。書の楽しさと奥深さを一人でも多くの人に知ってもらえたら幸いです。(帯より)



もっと知りたい 中国の美術

アート・ビギナーズ・コレクション

富田淳監修／東京美術／2,420 円／2022 年

かつて紫禁城に収蔵されていた名品を中心に、清朝第六代の皇帝であった乾隆帝をキーワードに中国の美術を読み解く、新しい視点による入門書。中国美術の流れとそのエッセンスを豊富なビジュアルとともに紹介する。



イラストと史料で見る中国の服飾史入門

古代から近現代まで

劉永華著／古田真一・栗城延江訳／マール社／1,980 円／2023 年

四千年以上に及ぶ中国の歴史を、「服飾」というテーマで切り取り、時代ごとの特徴を簡潔にまとめた。出土品や絵画を元にした再現イラストで、当時の人々のビジュアルが鮮やかによみがえる。



中国美術全史 第4巻 明・清

単国強著／古田真一訳／科学出版社東京／東京大学出版会発売

38,500 円／2024 年

中国美術の権威たちが執筆陣に名を連ねた『中国美術史』全4巻（中国人民大学出版社）の日本語版。先史時代から清代まで時代性や社会思想と関連させながら、数多くの図版を用いて網羅的に解説。第4巻 明・清。



中国服飾史図鑑 第4巻

黄能馥・陳娟娟・黄鋼編著／古田真一監訳／栗城延江訳

科学出版社東京／国書刊行会発売／30,800 円／2021 年

衣服、冠帽、履物、装身具、髪型や化粧まで、写真や図解を駆使して網羅的に解説。第1巻 服飾の誕生～魏晋南北朝、第2巻 隋～元、第3巻 明～清(上)、第4巻 清(下)～近代（各巻税込 30,800 円）。



香港を知るための60章 エリア・スタディーズ

吉川雅之・倉田徹編著／明石書店／2,200 円／2016 年

「歴史・地理・人口」「政治と法」「経済と社会」「多様性とネットワーク」「メディア・教育・言語」「文化」に分け、香港の魅力を紹介。参考文献、年表、固有名詞対照表（繁体中文・英文・日本語）も付し便利。



香港の歴史 東洋と西洋の間に立つ人々

ジョン・M・キャロル著／倉田明子・倉田徹訳／

明石書店／4,730 円／2020 年

植民地統治期から 1997 年の中国返還までをわかりやすく解説する香港の通史。歴代香港総督・行政長官一覧、年表を附す。



広東語の世界 香港、華南が育んだグローバル中国語

飯田真紀著／中央公論新社／990 円／2024 年

香港人の母語にして華南の共通語であり世界で 8000 万人が話す広東語。北京語とどう違うのか。なぜ香港、海外でかくも優勢なのか。食や映画を手がかりに、文法・会話から香港・華人社会、漢字、中国語方言を一望し、広東語の世界を探訪。中国語と方言を問い直す。



ニューエクスプレスプラス 広東語 (CD 付)

飯田真紀著／白水社／2,970 円／2019 年

香港の人々の素顔のことばである広東語は中国の標準語（北京語）との違いが大きく、とくに発音が異なっているため意思疎通ができない。本書では広東語のローマ字表記、発音、6 種類の声調、文のしくみ、表現や単語などを体系的に学習できる。



香港映画 100 の情景 輝く世界と自由な記憶

林加奈子・美山恵子著／言視舎／1,980 円／2021 年

香港の映画人脈に通じた二人の映画人が、街の魅力と密接にむすびついた映画たちを紹介。初めて香港映画を観る人におススメ作品から、マニアックなファンの期待にも応えられる映画の舞台裏まで、とっておきの話題を満載。



台湾研究入門

若林正丈・家永真幸編／東京大学出版会／4,290 円／2020 年

東アジアの地政学上、いまや重要な島となってきた台湾。台湾研究の第一線の研究者たちが、台湾の歴史・政治・社会・文化を理解する上で重要なキーワードによってわかりやすく、簡潔に解説する。「台湾とは何か」という問いに多角的な視点から迫る新しい入門書。



台湾のデモクラシー

メディア、選挙、アメリカ

渡辺将人著／中央公論新社／1,188 円／2024 年

中国の圧力に晒されながらも、台湾の民主主義が強靱な理由は何か。弱点はどこにあるか。白熱する選挙キャンペーン、独特な発展を遂げたメディア、多様な民族と言語の複雑さ、そしてあらゆる点で大きな影響を与えているアメリカとの関係に注目して解き明かす。



台湾を知るための72章

第2版 エリア・スタディーズ

赤松美和子・若松大祐編著／明石書店／2,200 円／2022 年

現在、国際社会においてその存在感を増す一方で、地域情勢の変動で耳目を集める台湾。本書は旧版をバージョンアップし、この地に関する基本的な知識を提供するとともに、最新の情報を盛り込む、台湾入門書である。

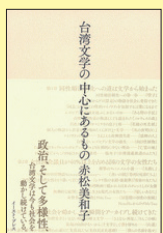


台湾の歴史大全

基礎から研究へのレファレンス

春山明哲・松田康博・松金公正・川上桃子編／藤原書店／4,840 円／2025 年

オランダ、清朝、日本、米・中など諸勢力の狭間に翻弄されてきた台湾の、先史時代から現代に至る歴史を、通史と事典的記述を両輪として描く。歴史研究・地域研究の入門書、また知識を深めるためのレファレンスブックとして必携の一冊。



台湾文学の中心にあるもの

赤松美和子著／イースト・プレス／1,980 円／2025 年

激動する歴史の中で、文学が社会を動かし、文学が人のパワーの根源となっている台湾。日本語で読める約 50 作品を紹介しながら、政治に翻弄されつつも、必死に格闘し、社会に介入してきた台湾文学を読み解き、その全貌を示す。



二十四史 『史記』に始まる中国の正史

岡本隆司著／中央公論新社／990 円／2025 年

史記、漢書、三国志、後漢書……元史、明史は「正史」とされ、統べて二十四史と呼ぶ。正史の起源から現代まで、各正史の特徴や意義、書史を追う。さらに、清史をめぐる中華民国と中華人民共和国の編纂の対立、元史の改定など、時の政治の影響を受けた問題なども記す。



中華とは何か 遊牧民からみた古代中国史

松下憲一著／筑摩書房／1,078 円／2025 年

統合と分裂を繰り返した古代中国史で「野蛮な夷狄」であるはずの遊牧民が統一王朝を支配した時代も少なくない。巨大帝国を維持し結束させた思想は何だったのか。異民族による巨大帝国支配。天下を統合した思想の変遷に迫る。



孝経 儒教の歴史二千年の旅

橋本秀美著／岩波書店／1,056 円／2025 年

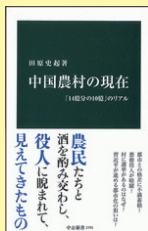
東アジアで『論語』とならび親しまれてきた『孝経』。古代における経典の誕生と体系化、解釈学の興亡と皇帝によるテキスト編纂、失われた書物をめぐる日中の学問交流、そして「孝」の教えをめぐるせめぎ合い——小さな古典から、儒教の大いなる流れをスリリングに案内する。



東アジア現代史

家近亮子著／筑摩書房／1,540 円／2025 年

鎖国から植民地化、幾度もの戦争を経て今なお残る冷戦構造。近代化以降の東アジア地域を世界史の中で一望する。協調と衝突を繰り返し突き進んできた約 200 年を振り返り、未来につなげるための 1 冊。



中国農村の現在 「14 億分の 10 億」のリアル

田原史起著／中央公論新社／1,056 円／2024 年

1990 年代末から中国各地の農村でフィールドワークを重ねてきた著者が実態に迫る。家族の発展を何より重視する精神、末端幹部たちの奮闘、裏金が飛び交う農村選挙、習近平政権が進める都市化の本当の意味——現場で農民と酒を酌み交わして初めて見えてくる実像。



南北朝時代

五胡十六国から隋の統一まで
会田大輔著／中央公論新社
990 円／ 2021 年



隋

「流星王朝」の光芒
平田陽一郎著／中央公論新社
1,100 円／ 2023 年



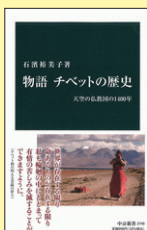
唐

東ユーラシアの大帝国
森部豊著／中央公論新社
1,210 円／ 2023 年



古代中国の 24 時間

秦漢時代の衣食住から性愛まで
柿沼陽平著／中央公論新社
1,056 円／ 2021 年



物語 チベットの歴史

天空の仏教国の 1400 年
石濱裕美子著／中央公論新社
990 円／ 2023 年



新疆ウイグル 自治区

中国共産党支配の 70 年
熊倉潤著／中央公論新社
946 円／ 2022 年



写真が語る 満州国

太平洋戦争研究会著
筑摩書房／ 1,320 円／ 2024 年



民族がわかれば 中国がわかる

帝国化する大国の実像
安田峰俊著／中央公論新社
1,100 円／ 2025 年



遊牧民、 はじめました。

モンゴル大草原の掟
相馬拓也／光文社
1,100 円／ 2024 年

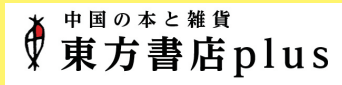
東方書店 御案内



東方書店ホームページ【中国・本の情報館】

<https://www.toho-shoten.co.jp>

輸入書 28 万点、国内書約 3 万点、輸入雑誌 3500 点の書籍データと在庫情報を公開。フリーワード検索可能。



東方書店 plus (東方書店 楽天市場店)

<https://www.rakuten.co.jp/tohoshoten/>

中国・台湾・香港から輸入した雑貨・書籍を販売。

※雑貨の取扱いはいはほ楽天市場店限定です。



東方書店のウェブマガジン WEB『東方』

https://www.toho-shoten.co.jp/web_toho

書評・コラム・連載などの読み物から中国関連の書籍・催事の情報まで。

メールマガジン

『電 伝』 中国輸入書籍の近刊・新入荷情報をお届けします

『書羅盤』 国内書の新刊情報。「まぐまぐ」を使って送付

ご登録はこちら⇒ <https://www.toho-shoten.co.jp/mailmag/index.html>



東方書店東京店舗アクセス図



東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線
神保町駅 A7 出口徒歩 1 分

営業時間：(月～土) 10:00-19:00 (日) 休業
(祝) 12:00-18:00

東方書店関西店舗アクセス図



地下鉄御堂筋線江坂駅 5 号出口徒歩 5 分
(駐車場あり)

営業時間：(月～金) 10:00-17:00
(土日祝) 休業

X

<https://x.com/tohoshoten>

輸入書、東方書店刊行書のほか、
学会・講演会などの情報も発信。



X (東京店)

https://x.com/toho_jimbocho

東京店の店員がナマの情報を
いち早くお届け。



Instagram

<https://www.instagram.com/tohoshoten/>

話題の書を紹介。東方書店 plus
(楽天市場店) の情報も発信中。



Facebook (東京店)

<https://www.facebook.com/tohojimbocho>

新着書情報や神保町のイベントなど、
最新情報を発信。

